

1. 件名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備の増設に係る面談
2. 日時：令和5年1月25日（水）13時30分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
新井安全審査官、佐藤室長補佐
高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 2名（テレビ会議システムによる出席）
廃炉安全・品質室 3名（テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力発電所 10名（うち6名はテレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、今後予定している使用済燃料乾式キャスク仮保管設備の増設に係る実施計画変更認可申請に関して、資料に基づき、使用済燃料乾式キャスク仮保管設備に関する耐震設計の内容に加えて、今後準備が整い次第、申請を考えている旨の説明があった。
- 原子力規制庁は、上記説明内容について事実関係を確認するとともに、具体的な内容については今後1F技術会合も含めて審査の中で確認すること、変更認可申請に当たってはこれまでの面談等を踏まえて内容を精査した上で行うよう伝え、東京電力から了解した旨の回答があった。

6. その他

資料：

- 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（増設）の耐震設計について